



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月31日

上場会社名 大成ラミック株式会社
コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 義成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷部 正

TEL 0480-97-0224

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,250	7.6	1,294	19.7	1,297	18.8	746	18.9
23年3月期第2四半期	9,529	7.9	1,081	1.6	1,091	1.4	627	12.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	120.25	—
23年3月期第2四半期	101.15	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,641	11,872	60.4
23年3月期	18,550	11,349	61.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,872百万円 23年3月期 11,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
24年3月期	—	33.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	37.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	5.1	1,950	8.7	1,910	5.5	1,100	6.7	177.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,300,000 株	23年3月期	6,300,000 株
24年3月期2Q	91,518 株	23年3月期	91,518 株
24年3月期2Q	6,208,482 株	23年3月期2Q	6,208,495 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から一部では持ち直しの動きが見られたものの、急速な円高の進行や、米国及び欧州の財政不安を受け、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当軟包装資材業界におきましては、震災に起因する電力使用制限への対応や原材料の供給不足等により、各社とも厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社のビジネスモデルである包装フィルムと液体充填機械を提供する体制のもと、シナジー効果をより発揮させるため販売体制の強化を進めるとともに、海外展開を含め液体充填システムを食品業界から化粧品業界まで積極的な営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は102億50百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は12億94百万円（同19.7%増）、経常利益は12億97百万円（同18.8%増）、四半期純利益は7億46百万円（同18.9%増）となりました。

[包装フィルム部門]

包装フィルム部門につきましては、原材料供給不足の懸念から先行受注が大幅に増加いたしました。このため生産体制の効率化を図るとともに、コスト削減等の諸施策を推し進めました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は96億17百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

[包装機械部門]

包装機械部門につきましては、お客様の多様なニーズを幅広く把握し、新たな需要の掘り起こしや更新需要の獲得等、積極的な営業展開を図りましたが、ユーザー各社における設備投資動向は依然慎重であり、前年同四半期の売上を下回りました。

その結果、包装機械部門の売上高は6億32百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ10億90百万円増加し、196億41百万円（前事業年度末比5.9%増）となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ8億91百万円増加し、124億31百万円（同7.7%増）となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により受取手形及び売掛金が10億8百万円、商品及び製品が2億8百万円、仕掛品が56百万円増加し、現金及び預金が4億35百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億99百万円増加し、72億9百万円（同2.8%増）となりました。主たる増加要因としては、無形固定資産が1億89百万円、有形固定資産のその他（純額）が85百万円増加し、機械及び装置（純額）が1億1百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ5億67百万円増加し、77億68百万円（同7.9%増）となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により買掛金が6億25百万円、未払法人税等が84百万円増加し、長期借入金1億56百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ5億23百万円増加し、118億72百万円(同4.6%増)となりました。主たる増加要因としては、業績が拡大したこと等に伴い、利益剰余金が5億16百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の61.2%から0.8ポイント下降し60.4%となり、1株当たり純資産額は1,912円33銭となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期会計期間末及び当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動による収入が4億28百万円、投資活動による支出が3億59百万円、財務活動による支出が4億2百万円あったことにより、前事業年度末に比べ3億35百万円減少し、当第2四半期会計期間末には24億44百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億28百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益12億76百万円、仕入債務の増加額6億25百万円、減価償却費2億89百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額10億8百万円、法人税等の支払額4億71百万円、たな卸資産の増加額2億68百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億59百万円(同20.3%減)となりました。

これは主に、基幹システム更新等の無形固定資産の取得による支出2億5百万円、本社・白岡工場の生産設備の拡充、合理化及び更新等の有形固定資産の取得による支出1億99百万円、関係会社株式の取得による支出41百万円、定期預金の払戻による収入99百万円(純額)等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億2百万円(同67.2%増)となりました。

これは主に、配当金の支払額2億29百万円、長期借入金の返済による支出1億56百万円等であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日に公表いたしました業績予想につきましては修正を行っております。具体的内容につきましては、平成23年10月21日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,680,598	4,245,361
受取手形及び売掛金	4,719,708	5,728,199
商品及び製品	1,299,985	1,508,979
仕掛品	396,836	453,067
原材料及び貯蔵品	170,183	173,170
その他	279,473	329,459
貸倒引当金	△6,135	△6,301
流動資産合計	11,540,649	12,431,937
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,773,909	1,734,925
機械及び装置(純額)	996,591	895,286
土地	3,337,167	3,337,167
その他(純額)	399,989	485,017
有形固定資産合計	6,507,657	6,452,397
無形固定資産		
投資その他の資産	143,365	332,964
その他	383,450	448,309
貸倒引当金	△24,344	△24,146
投資その他の資産合計	359,106	424,162
固定資産合計	7,010,129	7,209,524
資産合計	18,550,778	19,641,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,179,753	3,805,190
1年内返済予定の長期借入金	312,096	312,096
未払法人税等	490,472	575,209
賞与引当金	275,000	286,400
役員賞与引当金	21,350	11,025
株主優待引当金	61,912	28,360
その他	660,022	685,421
流動負債合計	5,000,606	5,703,703
固定負債		
長期借入金	1,828,570	1,672,522
退職給付引当金	228,487	248,463
役員退職慰労引当金	33,041	28,666
その他	110,520	115,402
固定負債合計	2,200,619	2,065,054
負債合計	7,201,226	7,768,757

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	6,274,389	6,791,276
自己株式	△209,118	△209,118
株主資本合計	11,369,946	11,886,833
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20,394	△14,129
評価・換算差額等合計	△20,394	△14,129
純資産合計	11,349,552	11,872,704
負債純資産合計	18,550,778	19,641,462

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,529,563	10,250,437
売上原価	7,189,814	7,639,706
売上総利益	2,339,749	2,610,731
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	273,740	278,297
貸倒引当金繰入額	—	62
役員報酬	55,264	58,402
役員賞与引当金繰入額	10,675	11,025
給料及び手当	302,731	320,437
賞与引当金繰入額	96,275	101,776
退職給付費用	30,674	32,456
役員退職慰労引当金繰入額	2,050	2,083
福利厚生費	54,919	59,329
旅費及び交通費	47,444	45,345
賃借料	98,360	125,892
消耗品費	29,599	29,227
減価償却費	42,738	48,721
株主優待引当金繰入額	29,737	28,360
その他	183,958	174,428
販売費及び一般管理費合計	1,258,170	1,315,847
営業利益	1,081,578	1,294,884
営業外収益		
受取利息	2,564	1,587
受取配当金	2,140	2,178
物品売却益	2,409	3,214
受取補償金	4,402	5,111
雑収入	3,486	2,981
営業外収益合計	15,003	15,073
営業外費用		
支払利息	507	6,836
売上割引	1,165	965
支払補償費	947	2,671
為替差損	2,227	2,089
雑損失	50	54
営業外費用合計	4,899	12,617
経常利益	1,091,682	1,297,339
特別利益		
固定資産売却益	—	19
投資有価証券売却益	—	100
貸倒引当金戻入額	2,020	—
特別利益合計	2,020	119
特別損失		
固定資産売却損	—	5,115
固定資産除却損	4,621	8,897
投資有価証券評価損	—	5,475
役員退職慰労金	—	1,750
特別損失合計	4,621	21,238

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税引前四半期純利益	1,089,081	1,276,219
法人税、住民税及び事業税	494,059	555,027
法人税等調整額	△32,971	△25,408
法人税等合計	461,087	529,618
四半期純利益	627,993	746,600

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,089,081	1,276,219
減価償却費	297,282	289,523
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,984	△32
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,600	11,400
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,675	△10,325
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△29,419	△33,552
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,495	19,976
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,050	△4,374
受取利息及び受取配当金	△4,704	△3,766
支払利息	507	6,836
為替差損益(△は益)	—	1,494
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,199	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	5,096
有形固定資産除却損	2,920	6,438
無形固定資産除却損	630	824
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,475
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△100
売上債権の増減額(△は増加)	△865,635	△1,008,491
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151,898	△268,212
仕入債務の増減額(△は減少)	640,502	625,437
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,038	△9,705
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△7,626	△30,031
その他の流動負債の増減額(△は減少)	48,638	22,258
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△726	206
その他	10,572	170
小計	1,056,450	902,768
利息及び配当金の受取額	5,462	3,966
利息の支払額	△507	△6,804
法人税等の支払額	△412,761	△471,624
過年度法人税等の支払額	△28,411	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	620,231	428,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,600,234	△3,600,649
定期預金の払戻による収入	4,500,151	3,700,476
貸付けによる支出	—	△22,000
貸付金の回収による収入	584	3,938
有形固定資産の取得による支出	△341,665	△199,711
有形固定資産の売却による収入	269	1,600
無形固定資産の取得による支出	△5,733	△205,607
投資有価証券の取得による支出	△2,967	△2,999
投資有価証券の売却による収入	—	6,706
関係会社株式の取得による支出	—	△41,575
その他	△1,588	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451,183	△359,715

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△156,048
リース債務の返済による支出	△11,056	△16,949
配当金の支払額	△229,592	△229,508
自己株式の取得による支出	△105	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,754	△402,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△71,707	△335,410
現金及び現金同等物の期首残高	2,523,290	2,780,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,451,583	2,444,769

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）及び当第2四半期累計期間（自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、部門・区分別に記載しております。

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区 分		生産高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	7,974,665	+16.1
	ラミネート汎用品	1,546,812	△0.9
	その他	129,308	△11.3
	計	9,650,787	+12.6
包装機械	包装機械	302,001	△32.2
	その他	269,318	△35.7
	計	571,320	△33.9
合 計		10,222,108	+8.3

- (注) 1. 上記の金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

(2) 製品仕入実績

当第2四半期累計期間における製品仕入実績は、次のとおりであります。

区 分	製品仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
汎用フィルム	295,641	+21.7
合 計	295,641	+21.7

- (注) 上記の金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

区 分		受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	8,268,163	+19.2	3,762,944	+70.7
	ラミネート汎用品	1,834,585	+11.3	529,592	+100.6
	その他	510,893	+13.0	169,458	+66.9
	計	10,613,642	+17.5	4,461,996	+73.6
包装機械	包装機械	278,972	△49.3	170,158	△45.7
	その他	232,179	△63.5	68,972	△80.6
	計	511,152	△56.9	239,130	△64.3
合 計		11,124,794	+8.8	4,701,126	+45.1

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

(4) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区 分		販売高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	7,547,945	+9.8
	ラミネート汎用品	1,588,494	+5.7
	その他	481,557	+8.3
	計	9,617,996	+9.0
包装機械	包装機械	290,416	△27.7
	その他	342,024	+11.7
	計	632,441	△10.6
合 計		10,250,437	+7.6

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。
 5. 輸出については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。
 6. 主要顧客については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。